



わかすぎ

第

119

号

2007

平成19年10月発行

甲子園への舞台裏

山商 対 佐賀北 第2回戦 試合日 19年 8月 14日 [開始 時 分] [終了 時 分] 所要時間 時間 分

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	計
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	計
佐賀北	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
山商	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第89回全国高校野球選手権大会

INDEX

- 02** 桑名市立中央図書館の子ども読書へのアプローチ
- 04** 第29回 少年の主張
三重県大会報告
- 05** 最優秀賞
「思いやりから生まれたもの」

- 06** わかすぎ時評 5
高校野球のもうひとつの主役は“マネージャー”
- 08** 財団からのお知らせ
編集後記

<編集発行>

(財)三重こどもわかもの育成財団

〒515-0054 三重県松阪市立野町1291

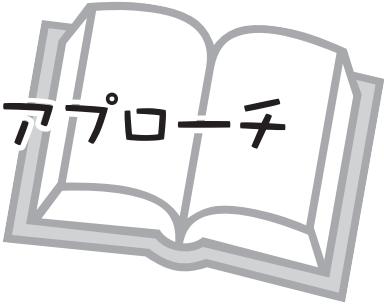
中部台運動公園内

TEL : 0598-22-4911

FAX : 0598-23-7792

URL : <http://www.mie-cc.or.jp>

桑名市立中央図書館の子ども読書へのアプローチ



民間が運営する* 桑名の図書館はどんなサービスをしているのか、いちど訪ねてみたいと思いました。桑名市立中央図書館を運営している図書館流通センターの総括責任者の氏家和正さんと学校図書館担当の白田裕美子さんにお話をうかがってきました。子どもたちにどういったサービスをしているのかを紹介しましょう。

桑名市立中央図書館 2004年10月1日に駅から歩いて約5分、市の中心部に出来た桑名メディアライヴの中核をなす施設。旧図書館から移転して開館。延床面積3,169m²。蔵書約24万冊（収容能力約30万冊）。開館時間は9時から21時まで。水曜休館。夜間と土日は親子連れの利用者も多い。2006年度の入館者約62万人、貸出冊数約73万冊。市町合併により昨年4月から桑名市の図書館は、ふるさと多度文学館、長島輪中図書館の3館で一つの図書館としての機能となるようにシステムを統合し、共通利用券を導入、3館の蔵書検索、どこの館でも借りたり返したりできるようになった。なお中央図書館を除く2館は民間ではなく市の運営。

〒511-0068 桑名市中央町3-79 電話 0594-22-0562 URL: <http://kcl.city.kuwana.mie.jp/>



さっそくですが、貸し出しとか読書相談とか調べものの相談は別にして、こちらの図書館では子どもの読書への啓発といいますか、そういったことではどんな取り組みをしていますか

お話し会、毎月の特集展示、図書館だより（市が作成）の発行、毎週の新着本の展示などをしています。ふつうの図書館がしていることです。官であろうが民であろうがということです。うちの図書館はいまだしの感がありますが……。

お話し会とは、具体的には絵本などの読み聞かせとか紙芝居、パネルシアターなどを指します。読み聞かせというのは図書館にとっては手軽におこなえる活動で、本は楽しいしおもしろい、怖いことも悲しいことも追体験できるし、いっぽうでここに安らぎを与えてくれることもあるし、「感動」というものに結びつくようにおもっています。読書のきらいな子でも楽しめるものです。また本からはいろいろなことを知ることができます。知らない世界があること、イメージする楽しさがあることなどですね。本来は児童図書館員のしごとですが、中央図書館ではボランティアの方**にしていただいている。スタッフも月にすくなくとも一度はおこなっています。パネルシアターというのは、貼り絵のお芝居のようなもので、布を巻いた板（パネルボード）に専用の紙（不織布）で作った人形や絵を貼り、お話を進めていくものです。類似のエプロンシアターもしていただいています。

特集展示というのは、あるテーマのもとに図書館が持っている本を選んで特集コーナーに並べます。今月は「戦争と平和」です。これからは図書館員が選んだ絵本のリストなども出していきたいとおもっています。



学校図書館に司書を派遣しているときいていますか……

桑名市立中央図書館は昨年度から学校図書館に司書を派遣する事業をスタートさせました。これは、司書教諭、PTA、ボランティアなどと協力しあって学校図書館を整備していくこうということがねらい

で、まず3校（小学校2、中学校1）から始まり、今年度はあらたに小学校が3校増えて合計6校となりました。スタッフが1人ないし2人、ほぼ週1回おうかがいしています。実務をおこなうということではなく、蔵書の構成の分析、本を選ぶときの助言、児童・生徒への読書指導、本の修理の仕方、調べ学習の支援などがおもなしことです。事業としてはいずれ公共図書館と全市の学校図書館のネットワークを構築する方向にすすむようにおもっています。まず司書派遣をして、すこしでも学校図書館をよくしていこうという教育委員会のおもいから始められたように考えています。それにどこまでお役に立てるだろうかとおもっていましたが、スタッフは前向きに取り組んでいます。

Q 具体的に何をしているかなど、もうすこしご説明いただけますか

その学校図書館がどんな本を持っているか、失礼ながら、使える本がどのくらいあるかなどを、まず見ていきます。30年前の百科事典が置かれています。学校図書館は残念なことに司書教諭の資格を持っている先生が兼務として担当しているというのが全国的に多いのが実情で、桑名もそうだとおもわれます。担任を持っていてしかも図書館の仕事やほかの仕事もしていらっしゃる司書教諭の先生は、かなりご苦労されながら運営してきたのではとおもわれます。学校図書館法の改正により2003年度から12学級以上の学校には司書教諭の必置がうたわれていますが、それまでは「当分の間」司書教諭はおかなくてもいいと、付則に規定されていたのです。

読書指導の具体的なこととしては、いくつかありますが、読み聞かせ、ブックトークなどの実演、指導をしています。ブックトークとは、あるテーマのもとに何冊かの本を台本に沿って関連させながら順番に紹介していくものです。たとえば、「水」をテーマにしたとき、雨、雲といったことから川、水道、涙などなど、いろんな本を紹介していきます。

またじっさいに本をどう選んでいくのか、学校は教科と結びついていますので公共図書館の選書とはもちろん異なりますが、共通点もあり、ふだんから児童書を扱う司書の仕事です。調べ学習への支援とは、調べるテーマを決めること、決まつたら具体的にどのようにしていくかなどを百科事典の使い方をはじめとしてレポートのまとめ方までを説明していきます。「桑名市の図書館を使った調べる学習賞コンクール」を2年前からおこなっていますが、全国コンクールでの入選者も出ています。

なお昨年からうかがっている長島北部小学校はNHKの三重支局の方が取材して司書派遣によりどう変わったかとその一端が春先に朝のローカルニュースで紹介されました。こちらのお話を受けてください、校長先生をはじめ先生方がひとつになって図書室を整備され、多彩な読書活動がなされています。

Q 少し話がとんでもいますが、子どもたちはなにを求めて図書館に來るのでしょうか

難しい質問ですね。本が好きだからというのは答えになってしまふんし……。ただ前提であることはたしかです。図書館員とのふれあいを求めている面もあるでしょう。ショッちゅう来てどこにあるのかを知っているのにもかかわらず、「ねえ〇〇について書かれている本はどこにあるの」などときく子もいますね。いっぽう図書館に来る子とは異なり、学校には本が好きな子もいれば、読書がきらいな子もいる。三年生くらいで中学生が読むような本を借りる子もいれば、マンガなら読むよ、絵本だったら、と言う高学年の子もいます。そんななかで興味のあることに関してこんな本があるよと何冊か紹介すると目を輝かせるという場面もあります。ひとそれぞれの「読む」ということへの入り方があり、わかっているつもりでしたが、こういうことはじっさい学校に行ってあらためて確認できたことです。十人十色の子どもに対しては図書館員のすることは対応がそれぞれ異ならざるをえないというのが率直なところです。これから大人になる、子どもたちに知識の宝庫である図書館をもっと使ってもらい、それが知恵へとかたちづくられていくようになればと願っています。

* PFI (Private Financial Initiative)、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法がとられている。

** ただのボランティアではなく年に2回のスキルアップ講座を修了したひとがおこなっている。

第29回 少年の主張三重県大会報告

平成19年9月2日(日)、四日市地域総合会館あさけプラザにおいて、「第29回少年の主張三重県大会」が開催されました。本年は県内57校から7,182名の応募があり、選ばれた13名が本大会で自らの主張を発表しました。

本大会では、四日市市立西朝明中学校生による司会進行や四日市市立朝明中学校吹奏楽部による演奏会など、中学生自身による運営コラボレーションが実現し、大会は大いに盛りあがりました。

なお、来年度は南勢志摩地区で開催されます。



● 審査結果発表 ●

賞	中学校	学年	名前	タイトル
最優秀賞	暁中学校	3年	坂口 夏希	思いやりから生まれたもの
	常磐中学校	3年	藤原 和典	夢は「水のドクター」
優秀賞 (順不同)	赤目中学校	2年	山崎 結	気持ちは分かるけど何かおかしいと思った事
	高田中学校	3年	長谷 昇磨	障がいへの眼
	三重中学校	1年	榎原 茗	安心して暮らせる街に
	三重中学校	2年	新見 純子	子供の携帯電話について
	富田中学校	3年	伊藤 夕貴	豊かな心を取り戻すために
	紀北中学校	3年	浜田 理帆	修学旅行から学んだこと
優良賞 (順不同)	皇學館中学校	3年	中村 碇	親になるということ
	芸濃中学校	3年	竹尾 優里	「如己愛人」から学ぶこと
	西朝明中学校	3年	竹之下 龍一	国際人になるために
	皇學館中学校	3年	奥田 千穂	“歩む”ということ
	朝陽中学校	3年	梅谷 沙樹	平和な未来へ

(敬称略)



朝明中学校吹奏楽部の演奏会



司会の西朝明中学校生の皆さん

★第29回少年の主張三重県大会には、以下の企業・団体よりご協賛いただきました。
心から感謝申しあげます。

(社)三重県薬剤師会、(社)三重県歯科医師会、NPO法人三重県歯科衛生士会

松阪ショッピングセンターマーム、(株)百五銀行、千巻印刷産業(株)

(順不同)



「思いやりから生まれたもの」

暁中学校 3年 坂口 夏希さん



みなさん、ユニバーサルデザインって知っていますか？ユニバーサルデザインとは、すべての人にとって利用可能であるように製品、建物、環境をデザインすることです。つまり、みんなのためのデザインということなのです。

一年生の時、総合の時間にユニバーサルデザインとはどういうものなのかについてまとめたことがあります。また、私自身でユニバーサルデザインを推進している団体の活動に参加したことがあります。

その活動の中で、初めに行ったのは“ユニバーサルデザインを作る”ということでした。

まず、紙に名前を書き普通の名刺を作りました。これは名刺を拡大したものです。ここで、あるちょっとしたことをしてみるとユニバーサルデザインの名刺になります。どうすればいいかわかりますか？答えは、この部分に切り込みを入れることです。この切り込みを右手で持って相手に渡せば、だれがやっても絶対に名刺を逆向で渡してしまうことはありません。たったこれだけの工夫でユニバーサルデザインの名刺になるのです。私はとても驚きました。

それから、市内に出てユニバーサルデザインを探しました。ユニバーサルデザインは私たちの身近にもたくさんありました。例えば、駅の切符販売機。音声で使い方を説明し、おつりがある時も「おつりを忘れずに」と言ってランプも点滅して教えてくれます。また、小銭の挿入口も広くなっていて、一度に数枚入れることができます。これなら、あわてている人や手の不自由な人にも便利です。

私は、ユニバーサルデザインを探すうちに商品一つ一つには、それを作った人のみんなに対する思いやりとやさしさがこめられているように思いました。

私の父は、仕事で車の部品や学校・病院で使う食器など、いろいろな物を作っています。二年前、父は“すべり止めトレー”を開発しました。父の思いは「食事を運ぶ時にだれでも安全に運べるように。老人ホームや病院でも安全に運べるようにしたい。」という願いからでした。考え始めてから完成まで約三年の月日をかけたそうです。実際に使っている方にはとても喜んでいただいているそうです。

ユニバーサルデザインについて考えること。これは、私たちにもきっとできると思います。

今、私は思っていることがあります。自転車で通学中、路側帯を通っていると後ろから来る車と接触しそうになり危険を感じことがあります。だからといって、歩道は小学生やお年寄りが歩いているので不用意に通行するのは危険です。だから、私は次の提案をしたいと思います。まず、もっと歩道を広くしたらいいと思います。幅が広く、安全に通れる歩道は子どもやお年寄り、そして、車いすの人。点字ブロックをつければ目の不自由な人にとっても通行しやすくなると思います。また、自転車が通る路側帯にはわかりやすい色で塗装するといいと思います。そうすることで、車を運転する人にも一目でわかりやすく、歩行者、自転車、車が互いに安心して行きかう道路ができるのではないかでしょうか。

しかし、今、私たちが本当に考えなければならないことは心のユニバーサルデザインだと思います。点字ブロックを平然とまたいで駐輪された自転車。電車やバスの中でお年寄りが立ってみえるのにちょっと勇気を出して「よかったです、この席使ってください。」という一言が言えない私たち。私たち一人一人がお互いに支え合おうという思いやりの気持ちを持てるようになること。そんな、心のユニバーサルデザインを作り出していくことが、これから私たちに問われている問題のような気がします。

思いやりの気持ちを持つことで、みんなの生活は笑顔にあふれ、住みやすい社会になると思います。
ありがとうございました。

高校野球のもうひとつの主役は“マネージャー”



甲子園球場での全国高校学校野球選手権大会の出場校は、都道府県で1度も負ることなく、全ての試合に勝ち続けたチームの戦いです。2007年夏、三重県からは県立宇治山田商業高校（校長：鈴木光一）が出場して活躍しました。選手たちを支える4人のマネージャーからお話を伺いました。

甲子園球場で校歌を歌いたい

Q: 今年、三重県の代表校として宇治山田商業高校の野球部員は夏の甲子園球場で頑張りました。優勝校となった佐賀県立佐賀北高等学校とは、初戦で延長戦となり、再試合に持ち込んだ実力はすばらしいですね。大勢のファンも球場やテレビやラジオの前で選手たちを応援しました。

今年の野球部員は、選手は男子51人とマネージャーの女子8人と伺いました。選手たちの毎日の練習を支えてきたマネージャーの役割について教えてください。夏の甲子園球場でのことも聞かせてください。

Aさん：野球部全員の目標はまず甲子園へ行って校歌を歌うことです。そのために毎日の練習がありますから、私たちは選手が全力を発揮できるように色々と考えます。例えば、授業が終わってかなり遅くまで練習がありますから、お茶の用意や練習の合間に食べるおにぎりを用意します。おにぎりは13合の炊飯器で3回炊いて作ります。ふりかけを混ぜたり工夫しますが、今は、炊き込みご飯が好評なので続けています。丼に一杯分位を3個のおにぎりにして100個以上握ります。私たちは皆が喜んでくれるので、作るのが楽しみなんです。それに、選手が練習をしているのを見ながらおにぎりを握るので、私たちも甲子園を目指して頑張っているような気持です。

一番大事なのは試合の時にスコアをつける仕事ですね。あとは、バッティング練習の時間測定やノック補助とか、練習のしやすい状況をつくります。タオルや雑巾などの洗濯もですね。

全員：選手へのおもいやりとか……なんやろ…一番大事なことは何といってもスコアリングですッ！山商の相手チームの選手のエラーとかも全部書く。それが選手を起用する時のデータになるんです。監督は試合内容とか頭に全部記憶されているけど、部員が後から見せてって感じで来る。盗塁をした時にそれをさしたかどうか、キャッチャーが投げてアウトにしたかどうかも全て記録で残します。一年生のときに先輩から叩き込まれます。



Q: 今年は甲子園出場で、皆さんがんばりましたね。

Aさん: 甲子園へは選手は18人と補助が2人で、マネージャーは2人が行きました。有志の応援団とチアガール20人も行きました。伊勢で応援する仲間たちの分も気合いが入りました。

甲子園では、お茶の事とかはボランティアの人たちがしてくれたので、マネージャーはスコアをつけることだけです。ベンチへ入れるのは1人だけなので、私がスコアをつけました。試合の状況を全て書き込みます。相手チームのことも含めて、こんな風につけました。県内の試合でもつけますが、甲子園ではとても緊張しました。

試合	勝利	敗北	得点	失点	試合時間	時間
1	○	△	10	9	1時間50分	1時間50分
2	△	○	10	10	1時間50分	1時間50分

マネージャーも家族も野球が好き ⑩⑩⑩⑩⑩

Q: 野球のことを楽しそうに話してくださる皆さん、野球部へ入部したお気持を教えてください。

Bさん: 野球に興味があって、プロ野球は見ないけど、中学の部活や高校野球を見て、高校生になったら直接係わってみたいなと思って。

Q: マネージャーに。そうか、野球の選手は男子だ。

Cさん: 私も小さい頃から父親が阪神ファンで、小さい頃から甲子園に足を運ぶことが多くて、小さい頃は何回も甲子園へ連れて行ってくれました。4年前?自分が入学する前に山商が甲子園で試合をするのを見て、自分もその近くで係わりたいなと思っていました。家族全員が野球好きなんです。

Q: 山商に野球部があるからって入学。マネージャーしかないって感じですか。

Cさん: はい。

Dさん: 父が地域の人たちと野球していて、男の子だったら野球をさせたかったけど、「山商入ったから、マネージャーやらんか」みたいな。もともと野球は好きだったから。今は妹も山商でマネージャーしたいって言ってます。

Q: 行動を共にしていると、「今日は体調がいいな」「ちょっと心配だな」っていうことを感じますか?

Aさん: 態度に出ますからすごく分かりやすいです。

Bさん: 機嫌、表情とかでね。

Q: 今日はちょっと機嫌悪いかなあと感じる時、何かフォローをしますか?

Aさん: ほっときます。

Q: ほっとく。なるほど、マネージャーとしての心構えは何ですか。

Aさん: とにかく、常に選手第一で動く。

全員: 選手第一。練習のしやすい状況をつくる。打率の計算、おもいやり……でも、一番大事なことはスコアリングですッ!



キャプテンに恵まれて ⑩⑪⑫⑬⑭

Q: 試合の間は大変な集中力ですね。今年の野球部の人たちは甲子園へ出場しましたが、何が違ったんだろう。

全員: キャプテン！

Q: キャプテンですか。どんな風にでしょうか。

Aさん: 部員をまとめるのが上手いのかな。部員のことを一番よく分かっている。楽しくやる時は楽しく、厳しく言う時は厳しく。

Q: マネージャーの人たちもキャプテンを尊敬しているのね。

全員: はい。

Aさん: 今年のキャプテンは背番号が控えの選手だったので、ベンチで応援の誰よりも声を出して、まわりを盛り上げてました。プレーについて後で言ったり、みんなの気持ちを分かって色々気配りしていたと思います。

Q: そうですか、皆に信頼されるキャプテンの人柄が分かります。甲子園から帰ってきたら、直ぐに来年に向けて練習が始まっているようですね、山商のますますのご活躍を祈っています。ありがとうございました。

あとがき 彼女たちが一番嬉しいのは「試合とかで勝った時の選手の笑顔です」と答える表情は輝いていました。インタビューの後にも「野球部の目標は甲子園で校歌を歌うことです！」と言って、グランドへ走って行きました。高校野球の魅力って、眩しい程の一途さかな、と思いました。

(文責: 中西 智子)



「平成19年度青少年育成指導者のための研修会」開催案内

目的

青少年育成国民会議の提案によりはじまった青少年の心を育てるキャンペーン『大人が変われば、子どもも変わる運動』で推進しているように、家庭・学校・身近な地域社会の中で子どもを育てるという意識を拡大しながら、地域住民が協力しあうという体制づくりを強化し、『地域の子どもは地域で育てる』を合言葉とした青少年育成の輪を広げるために、地域活動者、地域住民及び青少年育成に関わるNPO・ボランティア等の市民活動団体を対象に研修会を実施します。

内容

1. 講演

- テーマ 軽度発達障がいのある子どもたちの理解と指導
- 講師 県立特別支援学校西日野にじ学園 校長 西口辰生さん

2. 平成19年度「地域活動者研修会」の実践事例発表(予定)

- 松阪地方青少年育成市町民会議連絡協議会
- 伊賀地区青少年育成市民会議連絡協議会
- 紀北地区青少年育成市町民会議連絡協議会



開催期日 平成19年12月16日(日) 13:00~16:00

開催場所 三重県総合文化センター 男女共同参画センター 3F セミナー室C

問合先 財団法人三重こどもわかもの育成財団 青少年育成グループ (TEL: 0598-22-4911)

編集後記

9月7日の読売新聞(社会面)に、京都大学靈長類研究所の大学院生山本真也さんの実験結果が紹介されました。「人間社会に見られる互いに利益を得ようとする協力関係は最初から存在したのではなく、チンパンジーのように催促や罰を与える行動から進化したのではないか」とのこと。長谷川寿一東大教授の話では「人間関係の進化の鍵が、他人の気持ちや欲求を理解する共感能力であることを示した点でおもしろい」とありました。人間の社会性の解明です。興味深いですね。『わかすぎ』編集長 中西智子